



誰もが、誰かの、
たからもの。

波積（はづみ）ダムの運用開始について

波積ダム建設事業は、江の川水系都治川の「洪水調節」と「流水の正常な機能の維持」を目的として、江津市波積町本郷地内に「波積ダム」を建設するものです。

平成30年12月から本体建設工事を進めていましたが、この度、工事及び試験湛水※¹が完了したため、令和6年6月1日から運用を開始します。

また、ダム湖の名称は、公募により「はづみ湖」と命名されました。

※1 試験湛水は、ダムの工事完成後、ダムの堤体、基礎地盤及び貯水池周辺地山の安全性を確認するとともに、管理設備等の機能確認を目的として実施



貯水池全景(下流より撮影)
【試験湛水時】



貯水池全景(上流より撮影)
【試験湛水時】

島根創生計画

VIII 安全安心な暮らしを守る
1 防災対策の推進
(1)災害に強い県土づくり (P91)

【県 HP】

(島根創生を進めるための新規・拡充施策(令和6年度版))

<https://www.pref.shimane.lg.jp/admin/seisaku/keikaku/shimanesousei/jigyo.data/shinkikakujuR6.pdf>

(島根創生計画)

https://www.pref.shimane.lg.jp/admin/seisaku/keikaku/shimanesousei/index.data/souseikeikaku_illustrated.pdf



《 波積ダム事業概要 》

【目 的】

都治川は、古くから度々洪水被害が発生しており、特に昭和46年7月の豪雨では甚大な被害を受けました。このため、昭和46年度から昭和49年度にかけ災害復旧助成事業を行うなど河川改修により治水安全度の向上を図ってきましたが、その後も昭和47年などに洪水被害を受けたため、都治川沿いの地域の抜本的な治水・利水対策として波積ダムを建設するものです。

- ◆波積ダム地点における計画高水流量 $110\text{m}^3/\text{s}$ のうち $90\text{m}^3/\text{s}$ の洪水調節を行い都治川沿いの地域の水害を防除します。
- ◆ダム地点下流の都治川沿いの既得用水の補給を行うなど、流水の正常な機能の維持と増進を図ります。

【事業経緯】

- ・ S43 予備調査
- ・ S46. 7月 梅雨前線豪雨
- ・ S47. 7月 梅雨前線豪雨
- ・ S48～H5年 実施計画調査
- ・ H 6. 4月 建設事業着手
- ・ H10. 5月 基本協定締結
- ・ H16. 2月 損失補償基準協定妥結
- ・ H18. 4月 付替道路工事着手
- ・ H30. 3月 仮排水路トンネル着手
- ・ R30. 12月 ダム本体工事着手
- ・ R 3. 3月 定礎式
- ・ R 5. 10月 試験湛水開始
- ・ R 6. 4月 試験湛水終了
- ・ R 6. 6月 運用開始



昭和46年7月豪雨被災状況

【ダム及び貯水池の諸元】

河川名	江の川水系都治川
施行位置	江津市波積町本郷
総事業費	約173億円
型式	重力式コンクリートダム
堤高	48.2m
堤頂長	126.0m
堤体積	$68,500\text{m}^3$
総貯水容量	$3,720,000\text{m}^3$



波積ダム本体（下流面）